



医療的ケアセミナー



重い障害のある人々の安心した地域での暮らし（生活）を支えるためには医療との連携は欠かせません。非医療職である福祉職の医療的ケアの実施について障害福祉施設では大きな制度的壁があり、医療的ケアを必要とする人や家族の切実な要求に充分応えられていないのが現実です。

このセミナーを通し、医療的ケアの現状やあり方について皆さんと一緒に学び、考える機会にしたいと思います。是非ご参加をお願いします。

2011年2月26日(土)

開場 9:00

第1部 9:30～12:00

定員
80名

講演 三浦清邦氏

第2部 13:00～15:00

定員
40名

実技演習 第1部受講者のみ

参加費
資料代含む

第1部:きょうされん賛助会員1,500円
非会員2,000円

第2部:1,500円

申し込み締め切り 11月30日(定員になり次第受付終了)

裏面の申し込み用紙に記入の上
FAXでお送りください。

場所

労働会館東館

名古屋市熱田区沢下町9-7



お申し込み

あいされん事務局

FAX/052-681-1190

お問い合わせ

めいほく友の家(小林)

TEL/052-902-7707

主催: あいされん(きょうされん愛知支部) 共催: NPO法人医療的ケアネット

第1部 講演

テーマ

医療的ケアが必要な人の生活を支援する

～医療的ケアの基本・現状・考え方と基本的な医学知識～

講師 / 三浦清邦氏 (豊田市こども発達センター小児神経科医 / 医療的ケアネット理事)

特別支援学校、在宅、特別養護老人ホームでは、医療的ケアが必要な方々への医療職と教育職・福祉職との連携による支援が行われています。さらに平成22年7月から「介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度の在り方に関する検討会」で、学校卒業後の通所通園施設を含めた、あらゆる生活の場で医療的ケアの必要な人々の生活を支える仕組みについての国の議論が始まりました。

障害福祉施設における福祉職による医療的ケア実施に備えて、心と頭の準備をしておかなければなりません。医療的ケアの基本・現状・考え方と、主たる医療的ケアである吸引と経管栄養に関係した、呼吸、摂食・嚥下・栄養に関する知識を整理したいと思います。

第2部 実技

モデル人形(まーちゃん)を使った実技研修を3グループ13人程度に分かれ、経管栄養と吸引の手技を参考文献『医療的ケア「はじめの一步」』のCDを元に、職員が安全・安楽に利用者のケアを行えるように体験・演習を行います。

参加申込書 (1枚お一人でお願いいたします)

参加者氏名

所属(施設名等)

職種 (☑を入れてください)		<input type="checkbox"/> 指導員・介護者	<input type="checkbox"/> ヘルパー	<input type="checkbox"/> 看護師
		<input type="checkbox"/> 保護者	<input type="checkbox"/> その他()	
現在あなた自身が医療的ケアを実施していますか？ (いずれか該当するものに☑を入れてください)		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 実施していない	
		<input type="checkbox"/> 今はないが今後実施する予定あり		
(いずれか該当するものに☑を入れてください)				
きょうされん		<input type="checkbox"/> 加盟施設に所属	<input type="checkbox"/> 非加盟施設に所属	
きょうされん賛助会員		<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> 非会員	
連絡先	電話	FAX		
	MAIL			
(ご希望に応じて☑を入れてください)		<input type="checkbox"/> 講演(午前)のみ参加	<input type="checkbox"/> 講習会 1日参加	